

岡山県感染症週報 2014 年 第 24 週 (6 月 9 日～6 月 15 日)

◆2014 年 第 24 週 (6/9～6/15) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第 23 週 2 類感染症 結核 1 名 (80 代 女)
 4 類感染症 A 型肝炎 1 名 (70 代 男)
 第 24 週 2 類感染症 結核 3 名 (30 代 女 1 名、60 代 男 1 名、80 代 女 1 名)
 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (50 代 男)
 5 類感染症 侵襲性髄膜炎菌感染症 1 名 (60 代 男)

■定点把握感染症発生状況

- 咽頭結膜熱は、県全体で 41 名 (定点あたり 0.74 → 0.76 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。
- ヘルパンギーナは、県全体で 30 名 (定点あたり 0.44 → 0.56 人) の報告があり、前週よりわずかに増加しました。
- 感染性胃腸炎は、県全体で 351 名 (定点あたり 7.67 → 6.50 人) の報告があり、前週よりわずかに減少しました。

【第 25 週 速報】

- 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O26:50 代 女) の発生がありました。(6 月 17 日)

1. **咽頭結膜熱**は、県全体で 41 名 (定点あたり 0.74 → 0.76 人) の報告があり、前週とほぼ同数でしたが、過去 10 年間の同時期と比べて最も多い状態で推移しています。地域別では、美作地域 (2.50 人)、真庭地域 (2.00 人)、岡山市 (0.93 人) の順で報告数が多くなっています。第 23 週は、全国でも、過去 5 年間の同時期と比較して最も多く報告されています。咽頭結膜熱は、主にアデノウイルスに感染することによってみられる小児の急性感染症です。予防方法は、患者との接触を避けること、流行時にうがいや手洗い、手指の消毒を実施することなどです。
2. **ヘルパンギーナ**は、県全体で 30 名 (定点あたり 0.44 → 0.56 人) の報告があり、2 週連続で増加しました。地域別では、岡山市 (1.21 人)、倉敷市 (0.64 人) で報告数が増加傾向にあります。ヘルパンギーナは、夏に発生する小児の急性ウイルス性咽頭炎であり、いわゆる夏かぜの代表疾患です。例年、6 月頃から急激に発生報告数が増加し、7 月頃にピークを迎えます。患者との濃厚な接触を避け、うがいや手洗い、手指の消毒を励行するなど、感染予防に努めましょう。
3. **感染性胃腸炎**は、県全体で 351 名 (定点あたり 7.67 → 6.50 人) の報告があり、前週よりわずかに減少しました。県内の発生状況など詳しくは「[感染性胃腸炎情報](#)」をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓	★	RSウイルス感染症	↑	★
咽頭結膜熱	→	★★★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	★★
感染性胃腸炎	↘	★★	水痘	→	★★
手足口病	↓	★	伝染性紅斑	↓	
突発性発疹	↘	★	百日咳	↑	★
ヘルパンギーナ	↗	★	流行性耳下腺炎	↑	★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	↘	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	→		クラミジア肺炎	→	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↓				

【記号の説明】 前週からの推移: ↓ : 2 倍以上の減少 ↘ : 1.1～2 倍未満の減少 → : 1.1 未満の増減
 ↗ : 1.1～2 倍未満の増加 ↑ : 2 倍以上の増加

発生状況: 空白:発生なし ★: 僅か ★★: 少し ★★★: やや多い ★★★★: 多い ★★★★★: 非常に多い
 今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。
 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、平成 25 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

野山などへ入る際には、マダニに注意してください！

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）を引き起こすSFTSウイルスを保有したマダニが、県内に広く分布している可能性が考えられます。これからの季節は、マダニの活動が活発になります。咬まれないための予防対策をしましょう。

【予防のポイント】

- ◎草むらなどに入るときには、腕・足・首など肌の露出を少なくしましょう。
 - ・首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用。
 - ・シャツの袖口は軍手や手袋の中に。
 - ・ズボンの裾は、靴下に被せるか、長靴の中に。
- ◎服の上や肌の露出部分に、防虫剤を噴霧や塗布しましょう。
- ◎草の上に直接寝転んだり、腰を下ろしたり、服を置いたりしないようにしましょう。
- ◎野外活動後は、上着や作業着を家の中に持ち込まないようにしましょう。
- ◎脱いだ衣服は、すぐに洗濯するか、ナイロン袋に入れて口を縛っておきましょう。
- ◎野外活動後は、すぐに入浴し、体をよく洗い、新しい服に着替えましょう。入浴やシャワーの時には、マダニが肌に付いていないかチェックしてください。マダニに咬まれても、痛みやかゆみは、ほとんど感じません。
- ◎ペットにもダニが付かないように、ダニ避け剤などで予防しましょう。

【マダニに咬まれたら】

- ◎マダニが皮膚に付いていることに気がついた場合、皮膚科等の医療機関で適切な処置をしてもらってください。
- ◎その後、2週間程度は、体調の変化に注意してください。
- ◎発熱等の症状が認められた場合、速やかに医療機関を受診してください。その時、野山や草むら、河川敷などに立ち入る機会があったことを伝えてください。

[マダニに注意! \(岡山県チラシ\)](#)

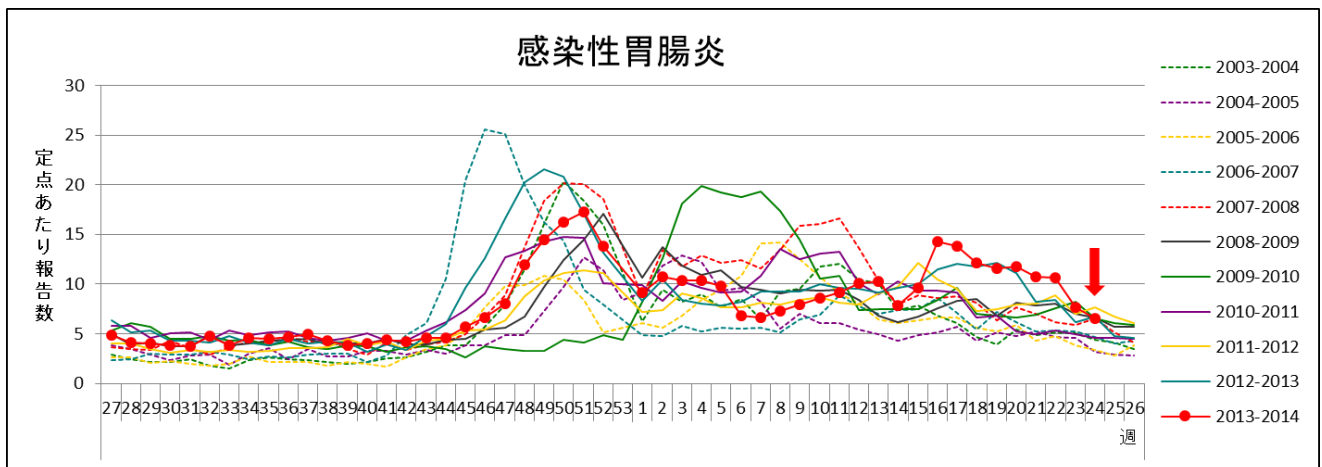
[マダニ対策、今できること \(国立感染症研究所\)](#)

[重症熱性血小板減少症候群 \(SFTS\) に関するQ&A \(厚生労働省\)](#)

* 野外にいる吸血性のダニとして、大型のマダニや、小型のツツガムシなどが知られています。これらのダニの中には、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の他にも、日本紅斑熱やつつが虫病などを引き起こす病原体を保有しているものもいます。

感染性胃腸炎情報 2014 年 第 24 週 (6 月 9 日 ~ 6 月 15 日)

○感染性胃腸炎は、県全体で 351 名 (定点あたり 7.67 → 6.50 人) の発生がありました (54 定点医療機関報告) 。



※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27 週～翌年 26 週でグラフを作成しています。

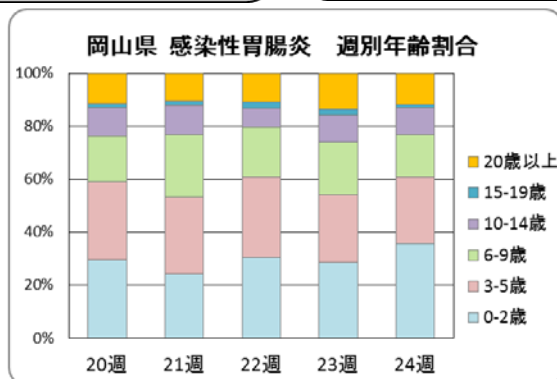
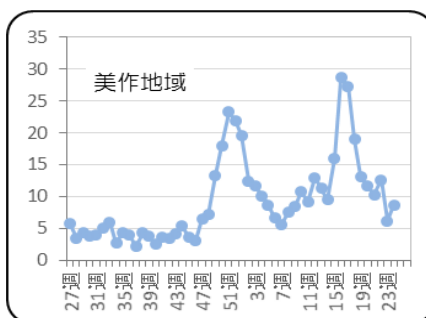
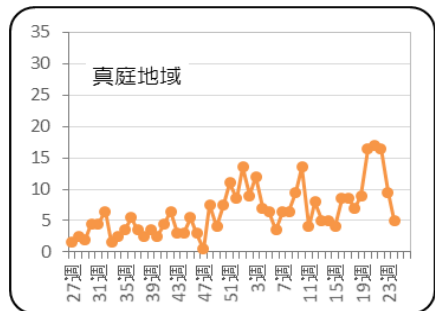
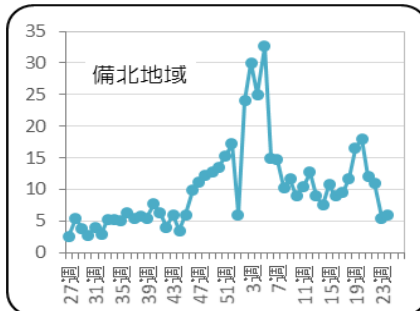
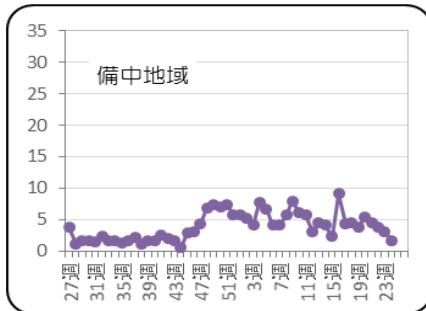
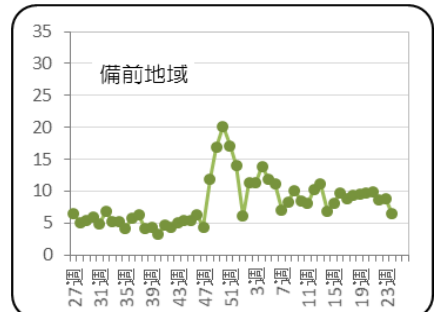
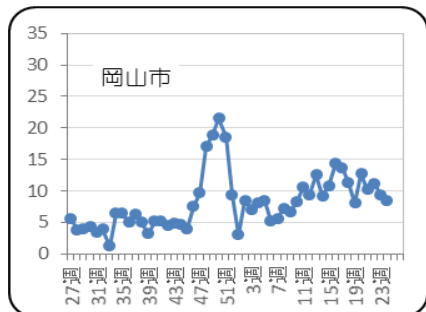
感染性胃腸炎は、県全体で 351 名 (定点あたり 7.67 → 6.50 人) の発生があり、前週よりわずかに減少しました。例年、梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、食中毒菌による感染性胃腸炎も増加します。岡山県では「食中毒注意報」が発令されています。トイレの後や食事、調理の前には、石けんと流水で念入りに手を洗うなど、感染予防に努めてください。

[食中毒に関する情報 \(厚生労働省\)](#)

[食中毒注意報を発令しました! \(岡山県\)](#)

◆地域別・年齢別発生状況

地域別では、美作地域 (8.67 人)、岡山市 (8.43 人)、備前地域 (6.50 人) の順で定点あたり報告数が多くなりました。年齢別割合では、5 歳以下の乳幼児が全体の 61% を占めています。



保健所別報告患者数 2014年 24週 (2014/06/09～2014/06/15)

2014年6月18日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1	0.01	-	-	1	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	41	0.76	13	0.93	4	0.36	2	0.20	3	0.43	-	-	4	2.00	15	2.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	1.31	23	1.64	19	1.73	17	1.70	3	0.43	-	-	1	0.50	8	1.33
感染性胃腸炎	351	6.50	118	8.43	70	6.36	65	6.50	12	1.71	24	6.00	10	5.00	52	8.67
水痘	68	1.26	33	2.36	13	1.18	9	0.90	10	1.43	-	-	1	0.50	2	0.33
手足口病	3	0.06	-	-	2	0.18	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	25	0.46	14	1.00	2	0.18	6	0.60	1	0.14	-	-	1	0.50	1	0.17
百日咳	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	30	0.56	17	1.21	7	0.64	3	0.30	3	0.43	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	11	0.20	4	0.29	4	0.36	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	0.58	2	0.40	3	0.75	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2014年 24週 (2014/06/09～2014/06/15)

2014年6月18日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1	0.01	-	-	1	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	41	0.76	13	0.93	4	0.36	2	0.20	3	0.43	-	-	4	2.00	15	2.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	1.31	23	1.64	19	1.73	17	1.70	3	0.43	-	-	1	0.50	8	1.33
感染性胃腸炎	351	6.50	118	8.43	70	6.36	65	6.50	12	1.71	24	6.00	10	5.00	52	8.67
水痘	68	1.26	33	2.36	13	1.18	9	0.90	10	1.43	-	-	1	0.50	2	0.33
手足口病	3	0.06	-	-	2	0.18	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	30	0.56	17	1.21	7	0.64	3	0.30	3	0.43	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	11	0.20	4	0.29	4	0.36	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	0.58	2	0.40	3	0.75	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2014年 第24週 2014/06/09～2014/06/15)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

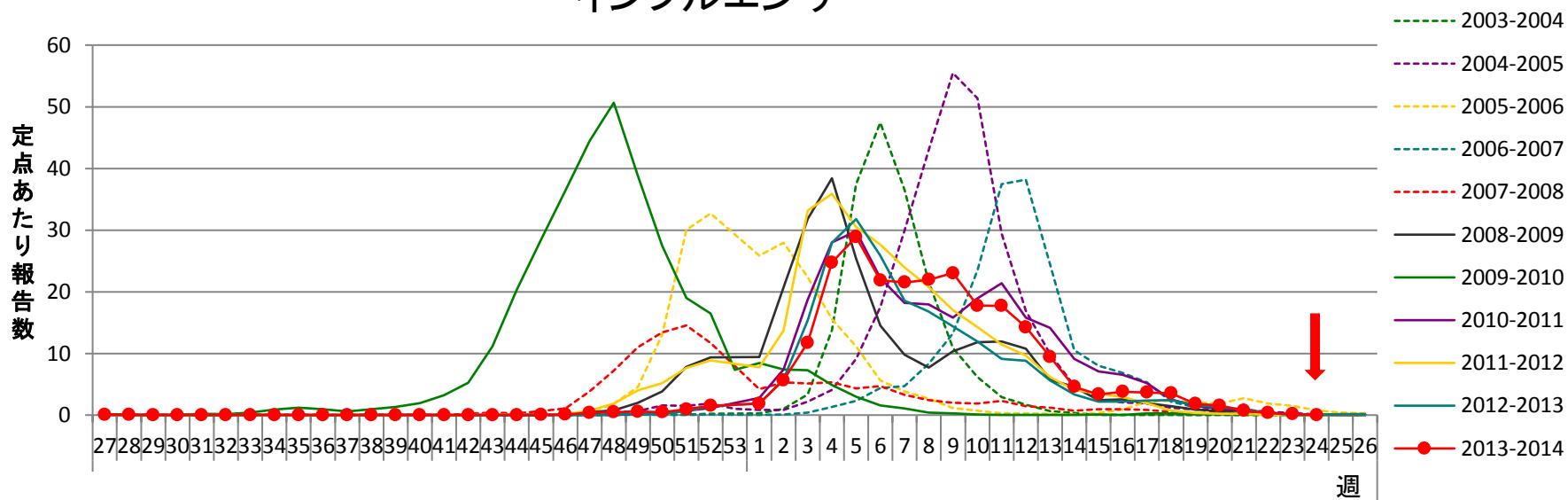
疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	41	-	5	12	6	8	5	-	4	-	-	1	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	-	2	3	8	11	5	9	12	4	1	3	9	-	4
感染性胃腸炎	351	5	26	58	36	28	27	33	17	21	12	7	35	5	41
水痘	68	2	2	10	7	17	12	6	7	1	-	1	3	-	-
手足口病	3	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発疹	25	-	12	12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
ヘルパンギーナ	30	-	3	12	7	1	3	1	-	1	-	1	1	-	-
流行性耳下腺炎	11	-	-	-	-	1	1	1	3	1	-	2	1	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	7	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	2	2	-	-	-

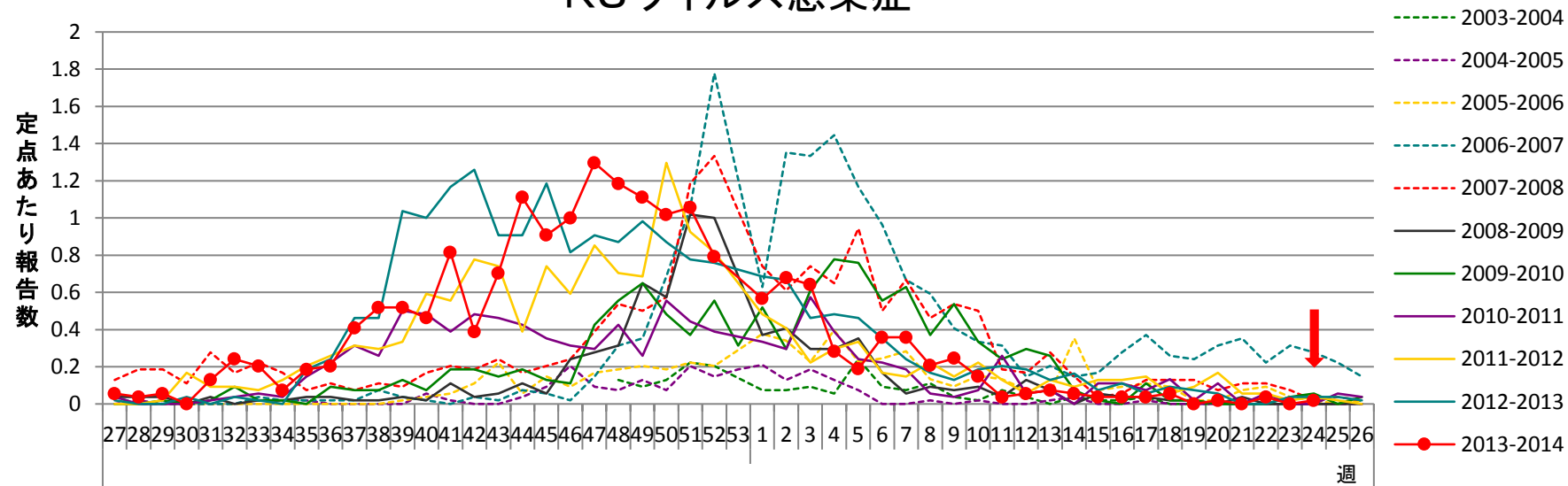
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

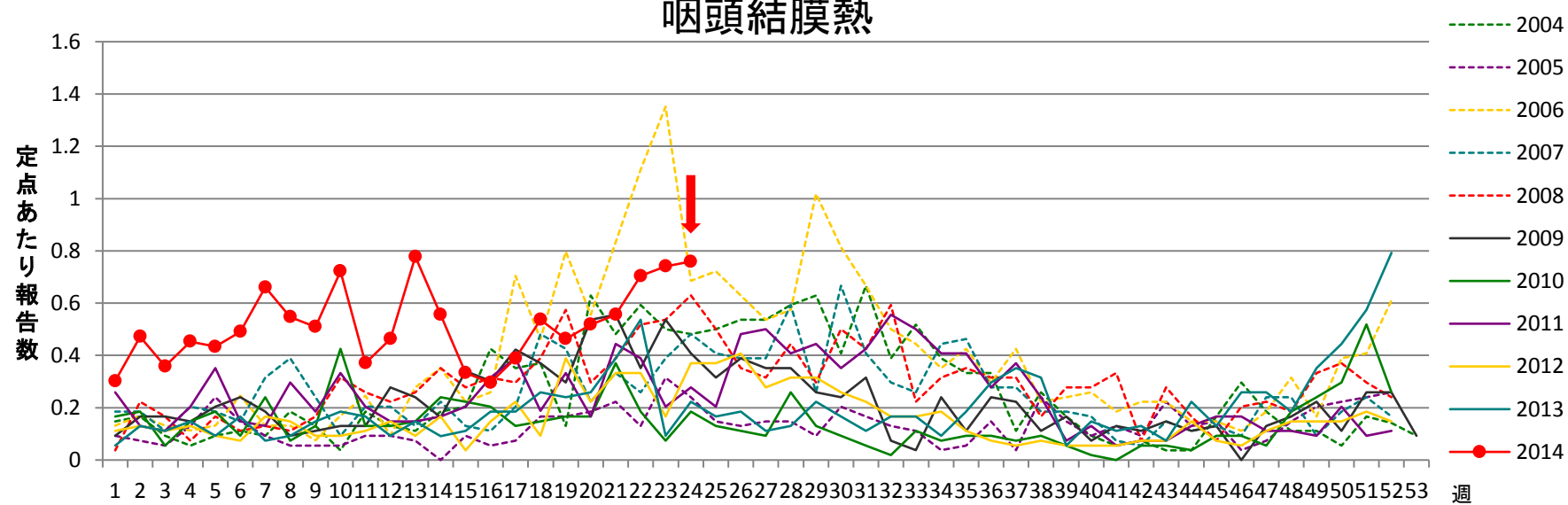
インフルエンザ



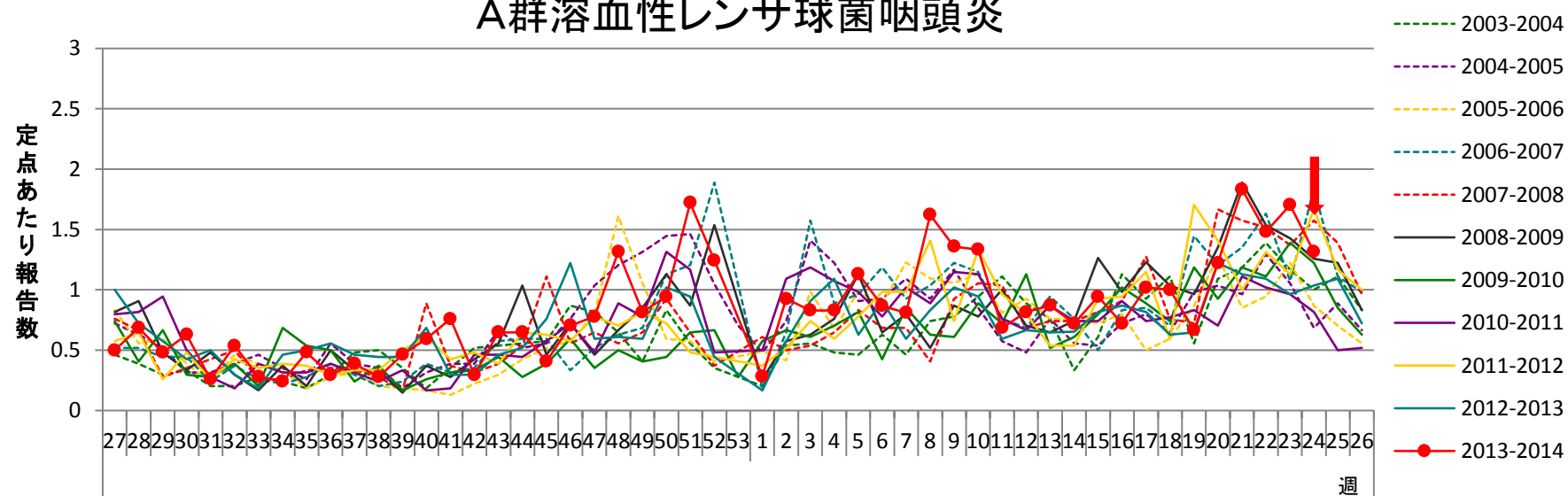
RSウイルス感染症



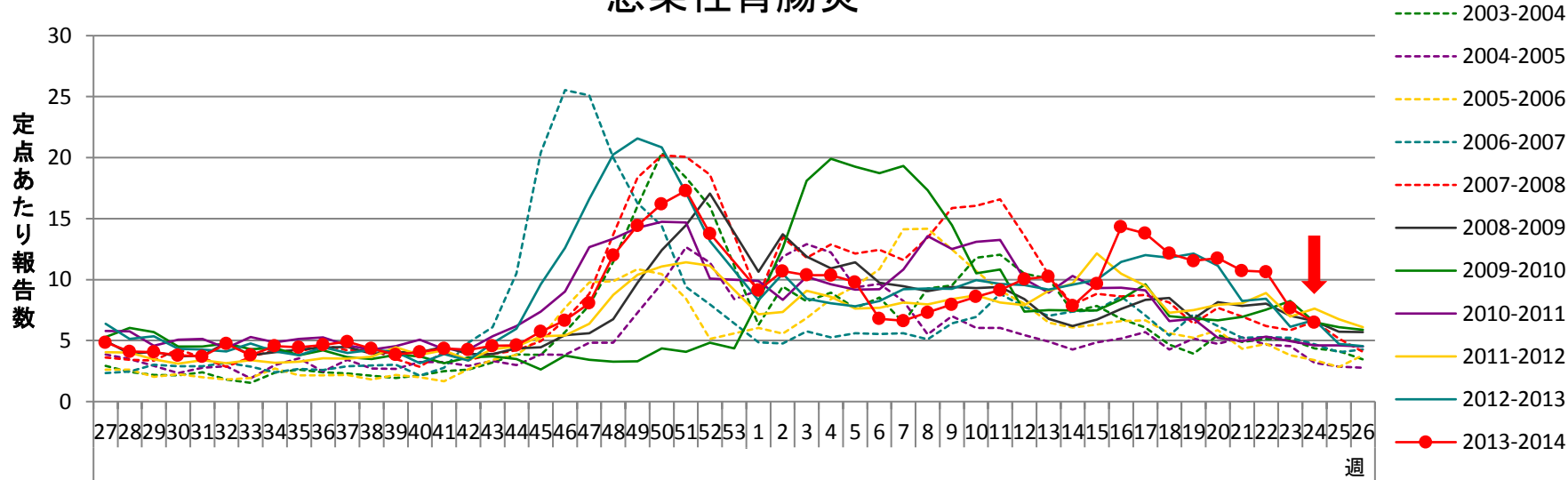
咽頭結膜熱



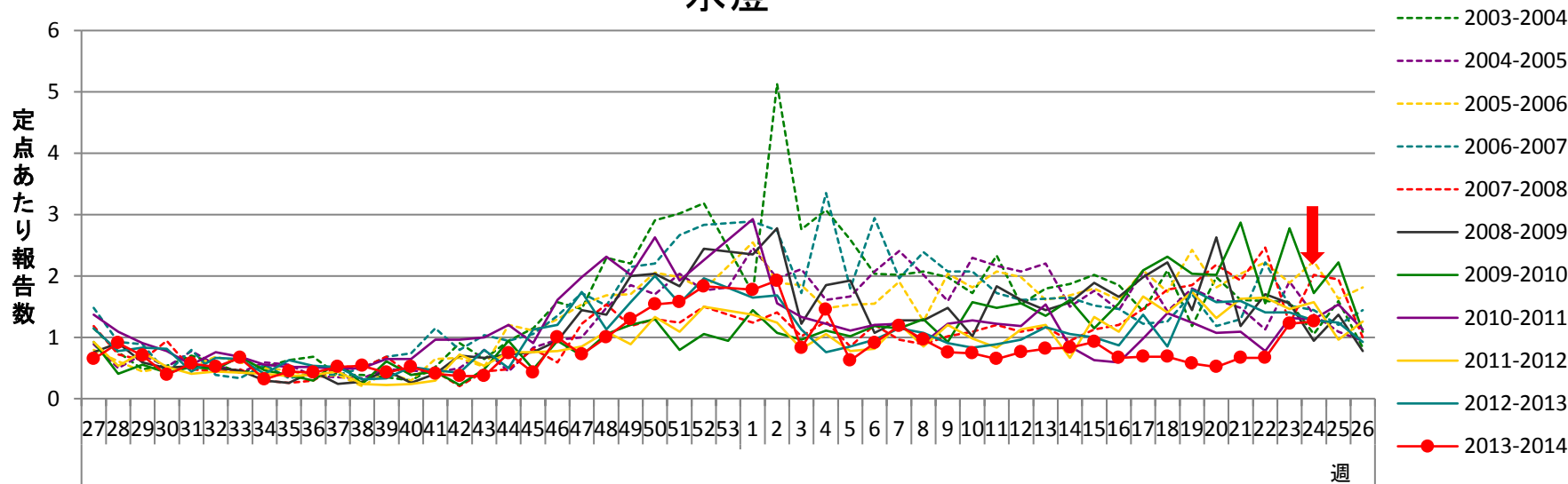
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



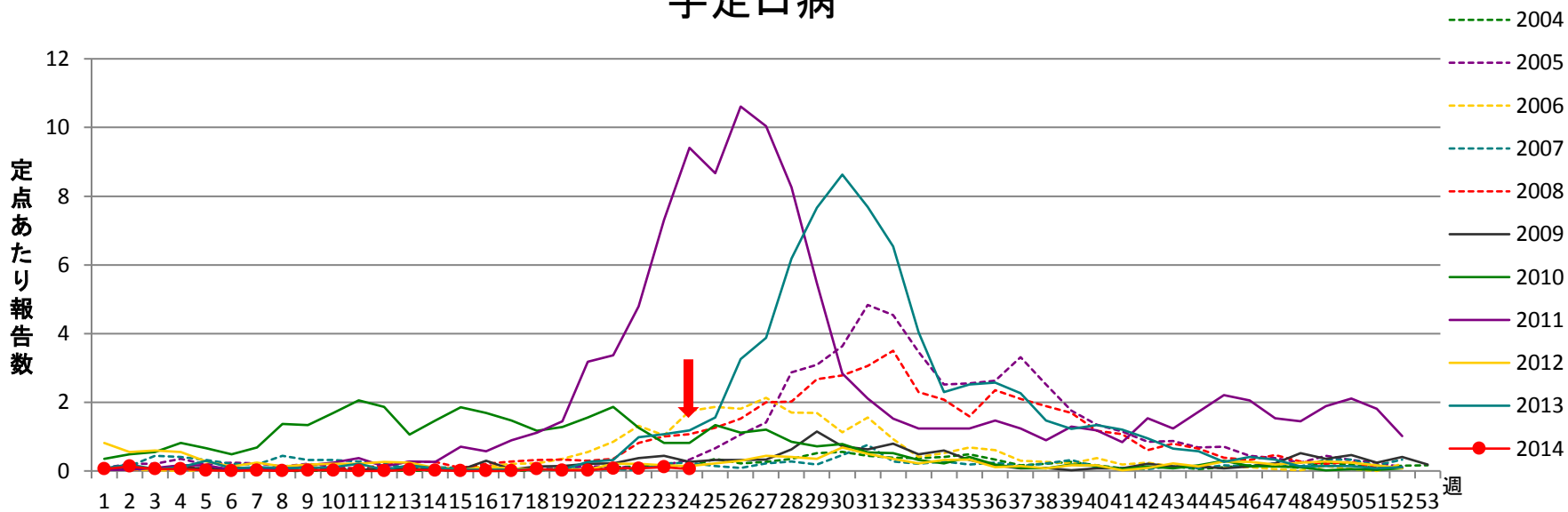
感染性胃腸炎



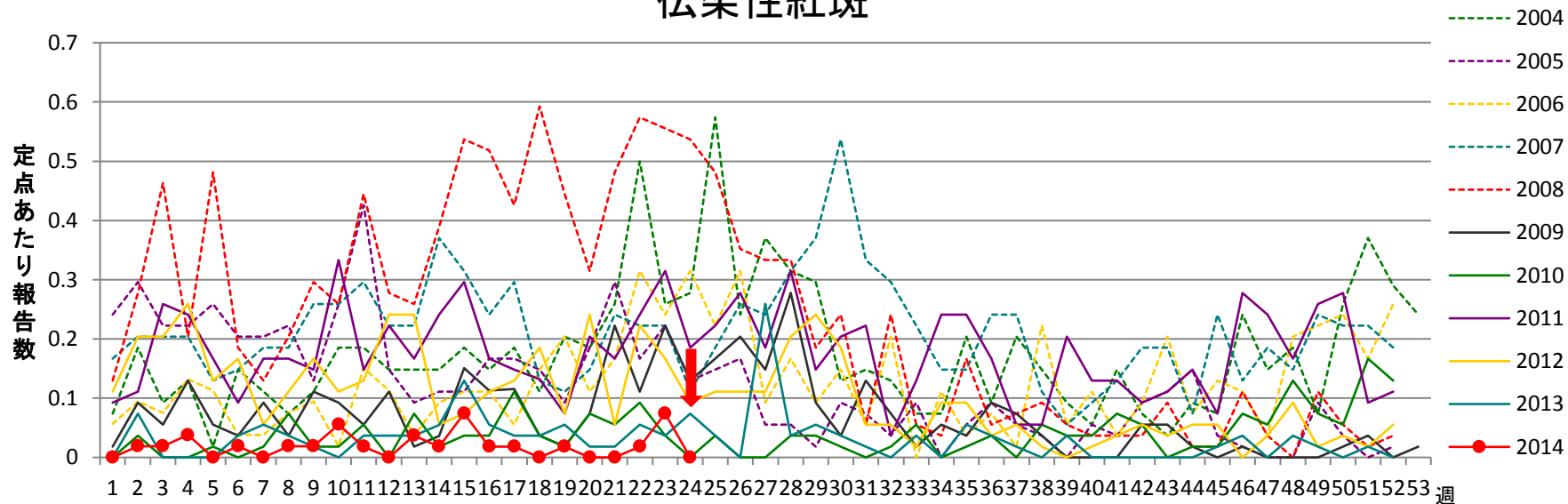
水痘



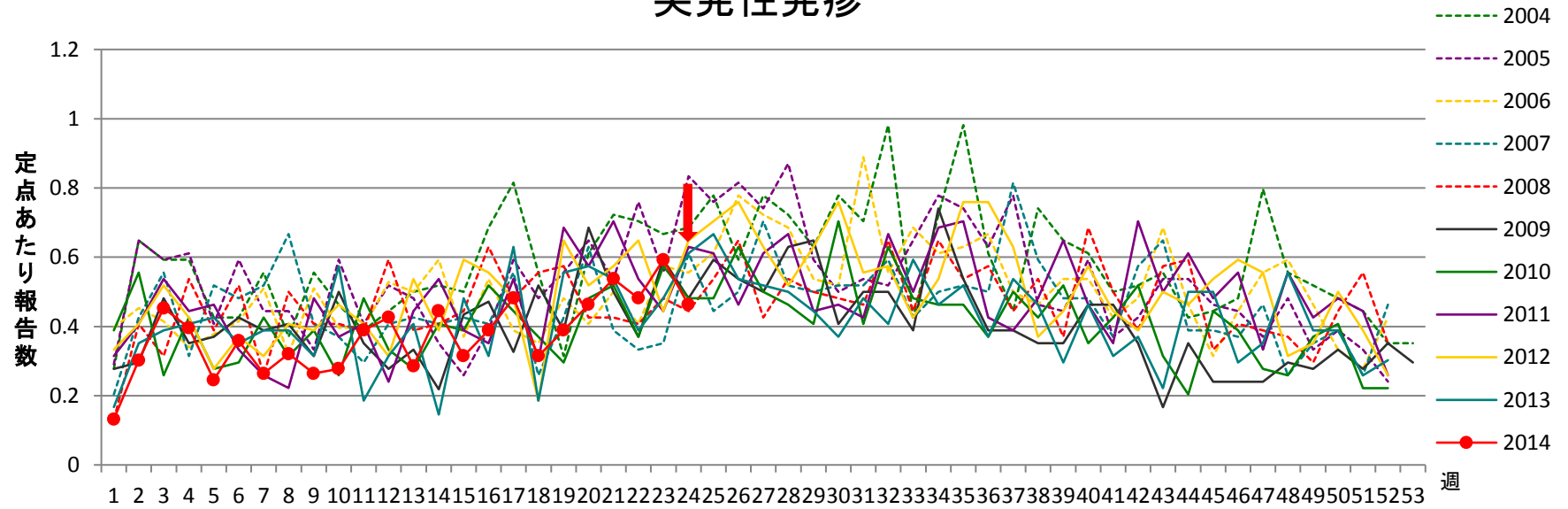
手足口病



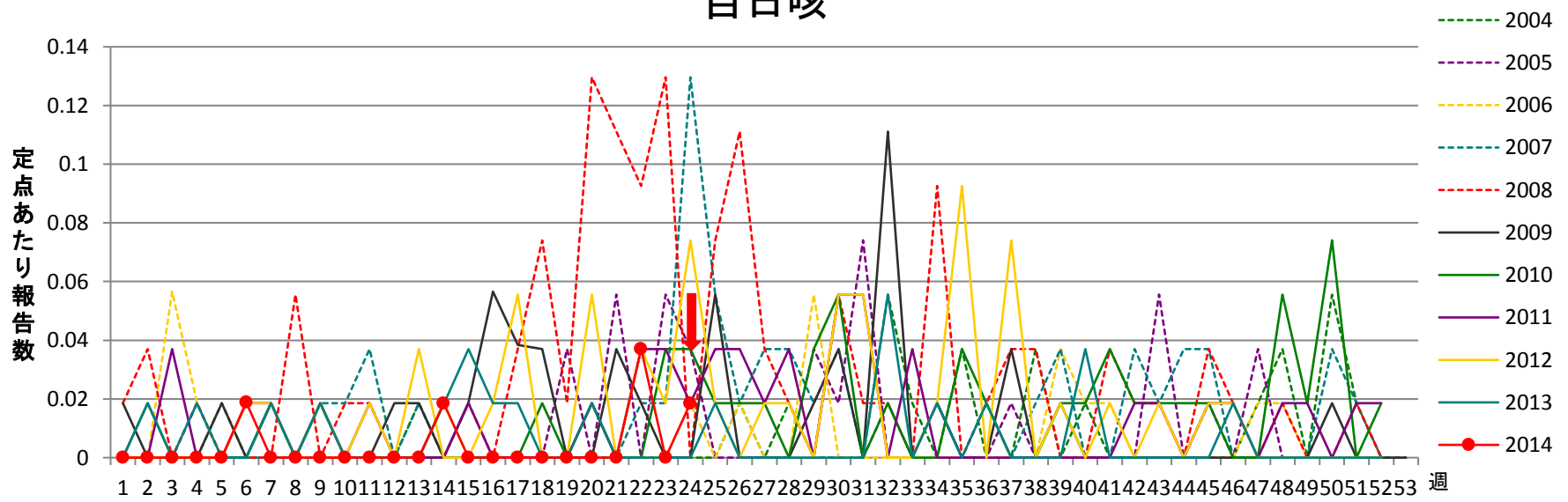
伝染性紅斑



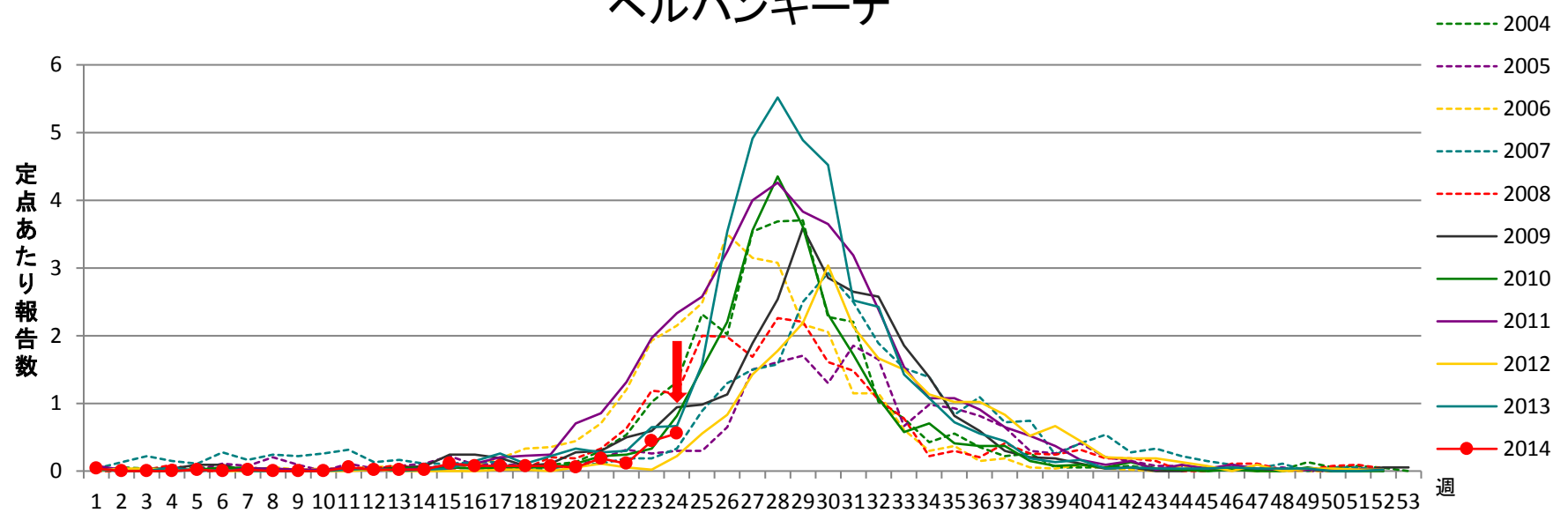
突発性発疹



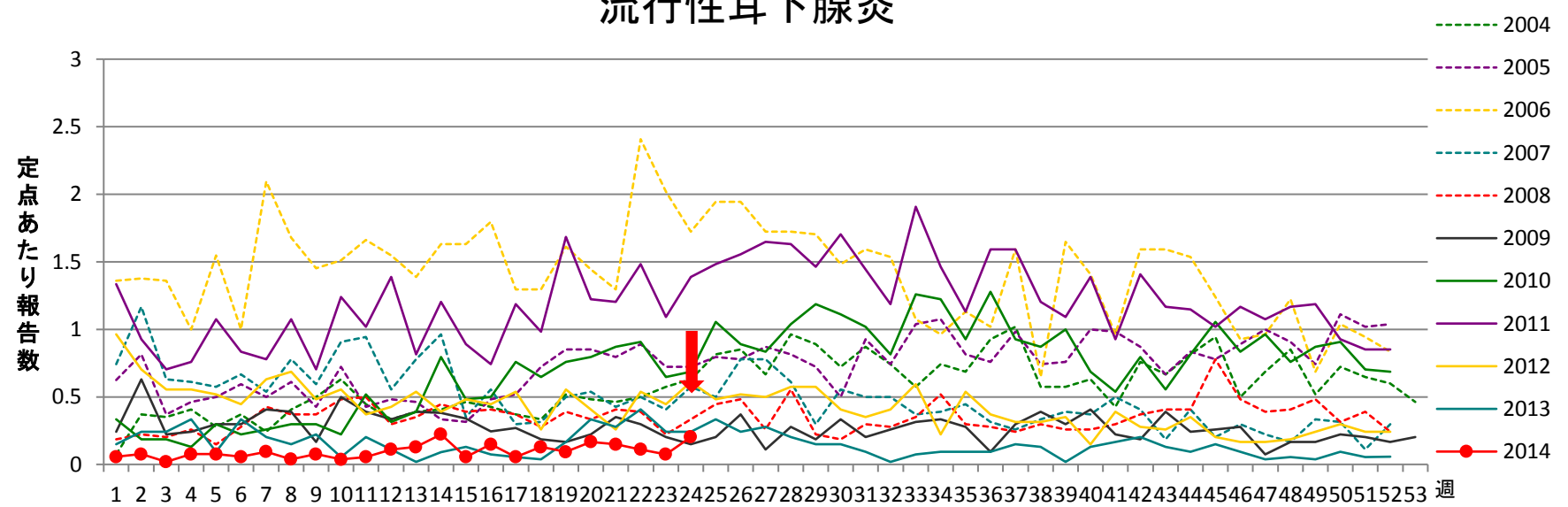
百日咳



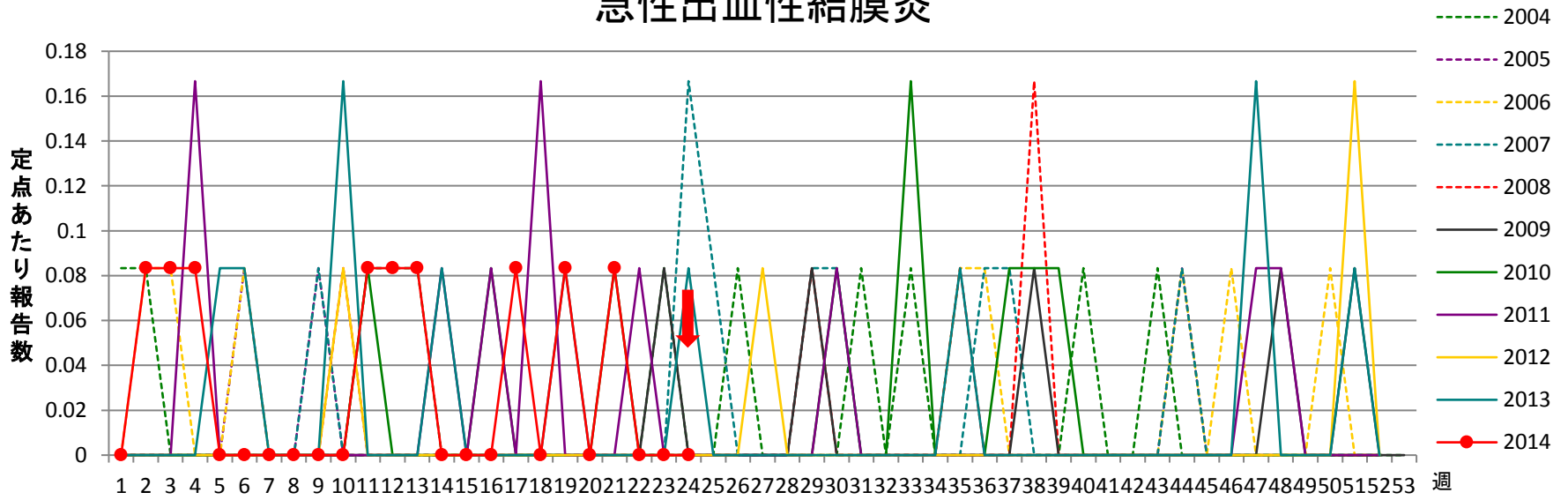
ヘルパンギーナ



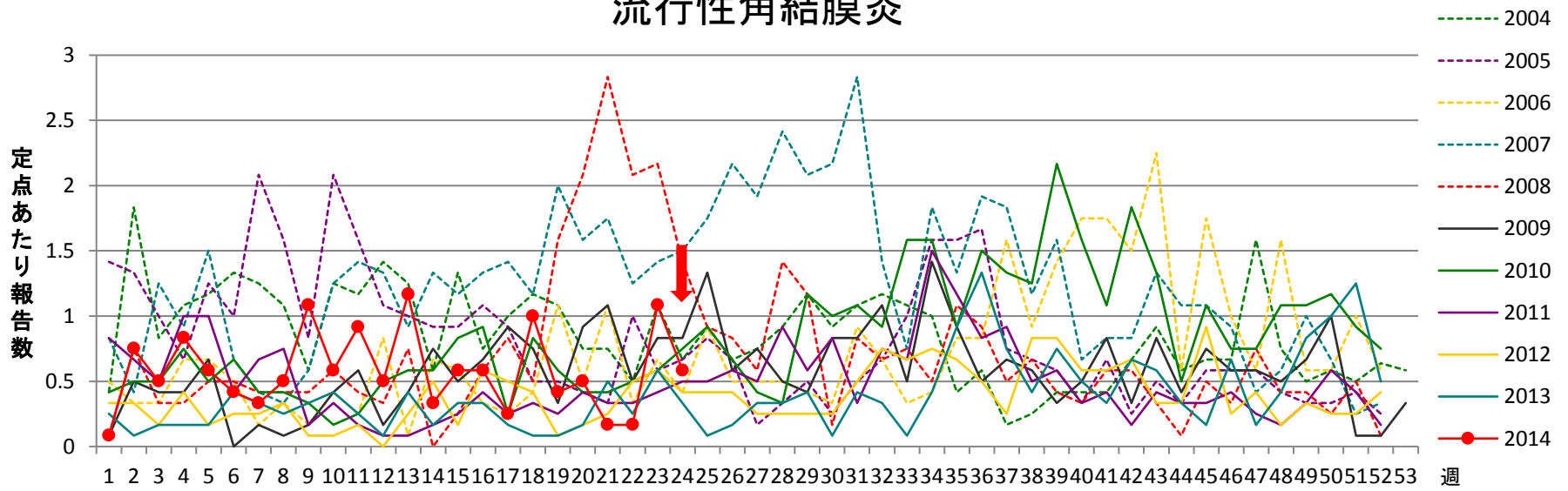
流行性耳下腺炎



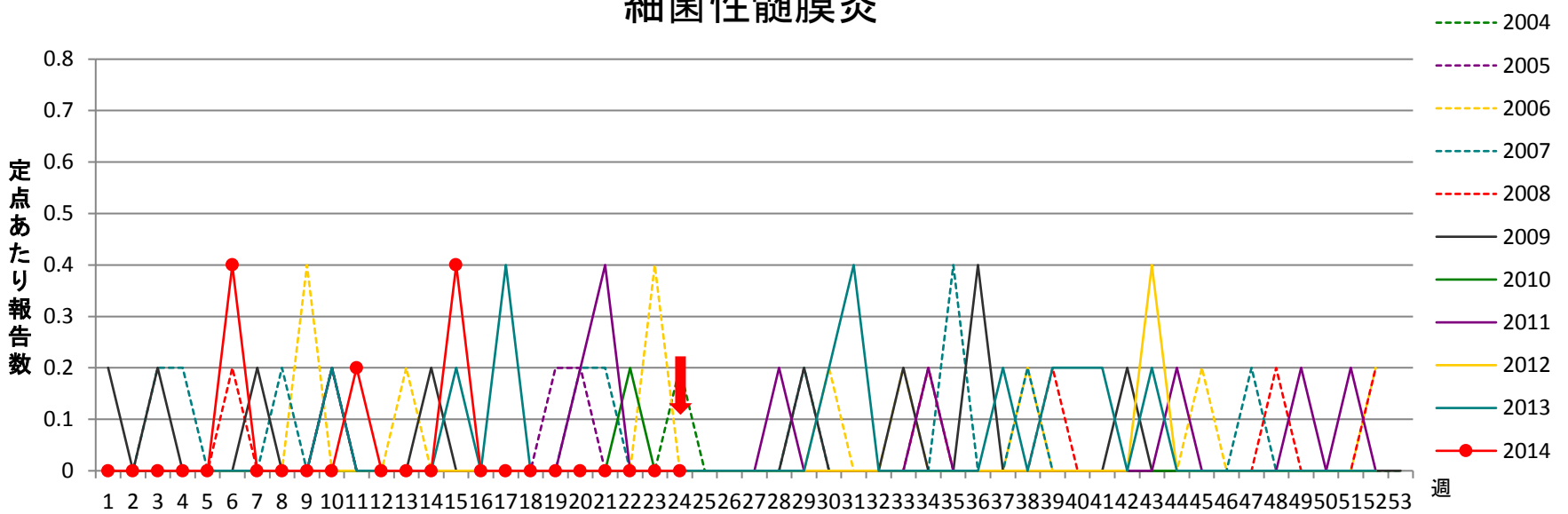
急性出血性結膜炎



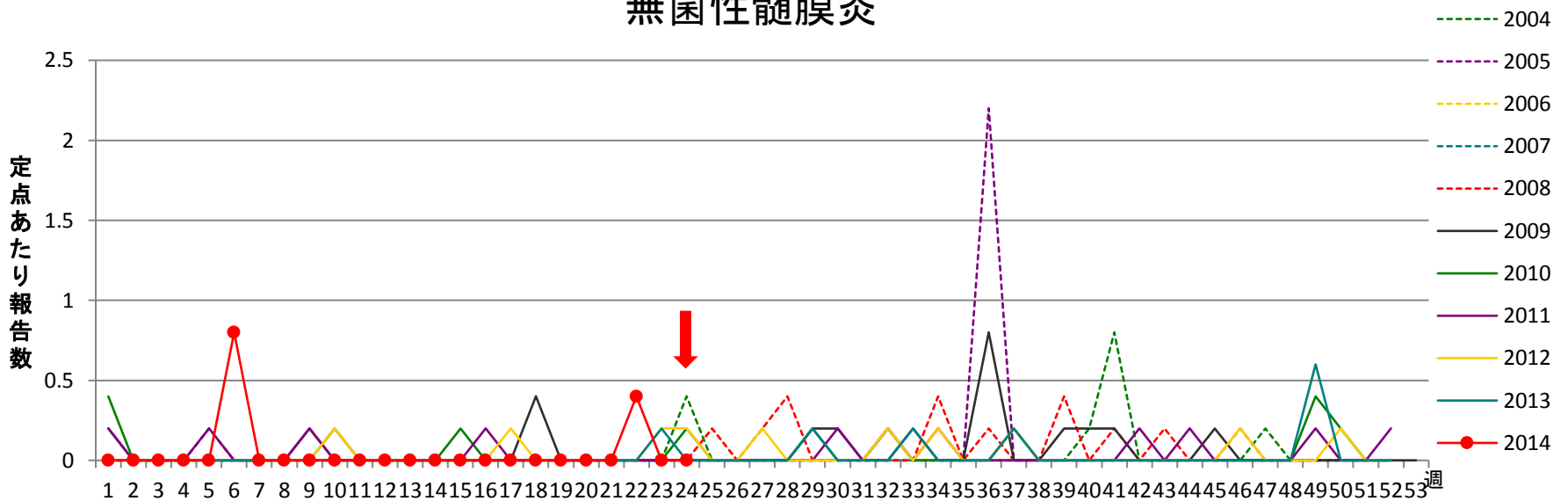
流行性角結膜炎



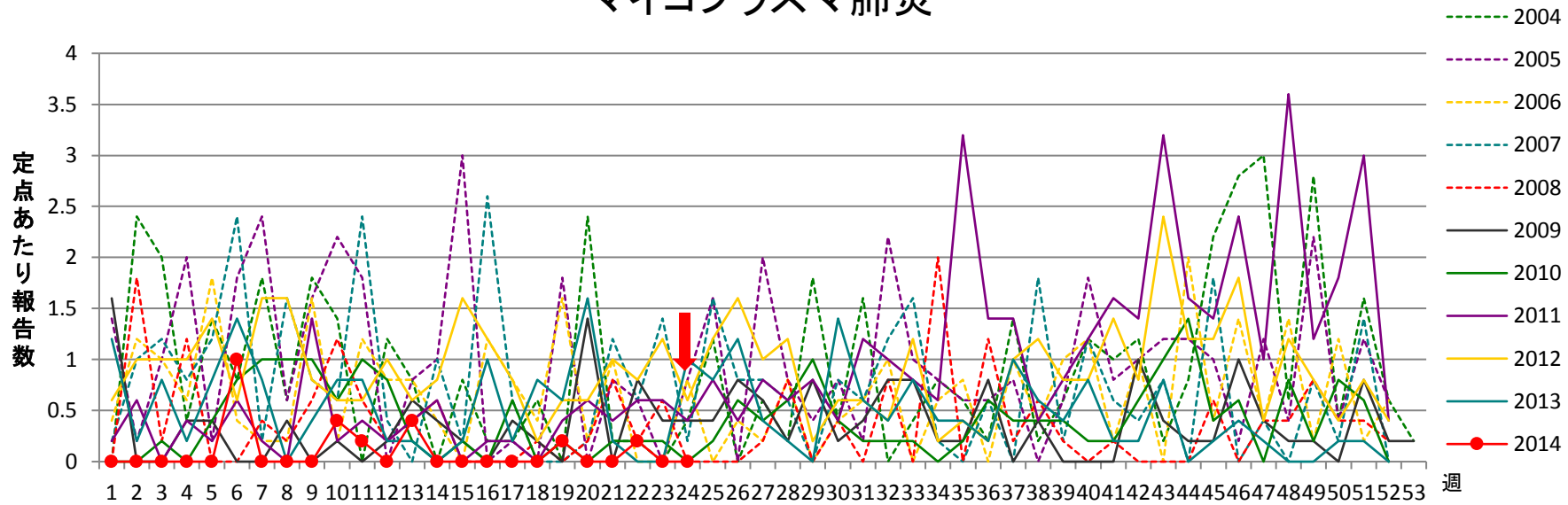
細菌性髄膜炎



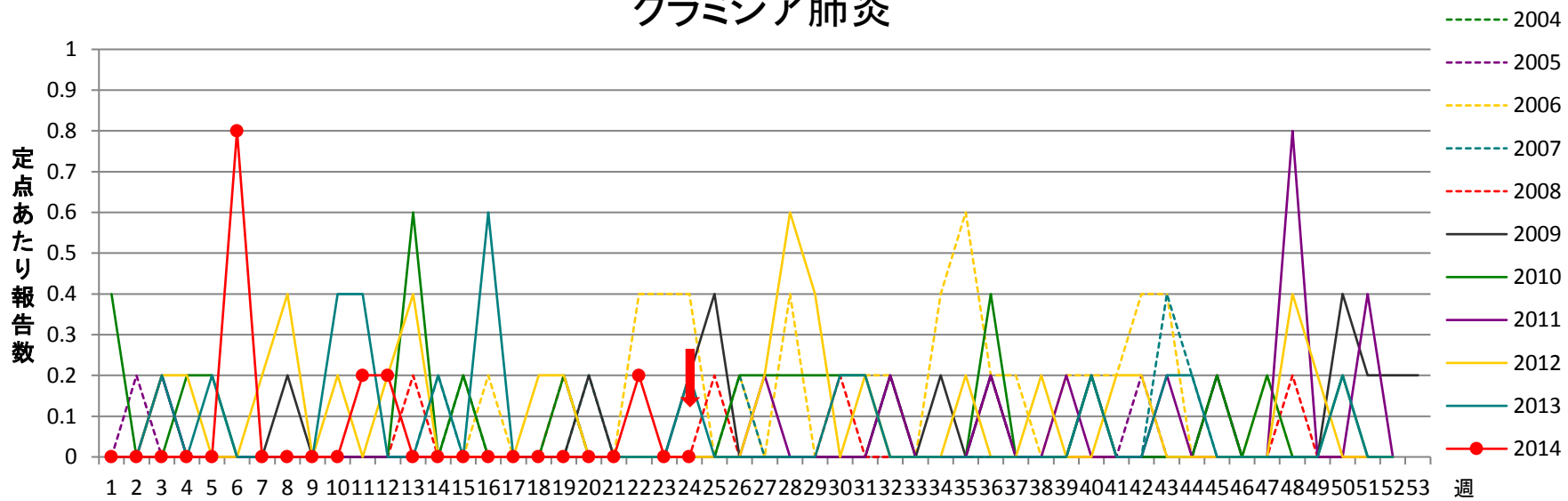
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

